

## 第 3 回 愛南町御荘地区沿岸津波対策検討委員会

### 住民の合意形成方法について（案）

#### 構 成

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1. 第 2 回検討委員会の主な意見  | 1 |
| (1) 前回提案事項の概要       |   |
| (2) 第 2 回検討委員会の主な意見 |   |
| 2. 住民合意の基本的な考え方     | 3 |
| (1) 目的              |   |
| (2) 実施フロー           |   |
| 3. 住民の合意形成の実施計画（案）  | 4 |
| (1) アンケートの実施方法等     |   |
| (2) 配布資料の構成         |   |
| (3) 調査項目について        |   |

# 1 第2回検討委員会の主な意見

## (1) 前回提案事項の概要

### ■ 段階的な対応

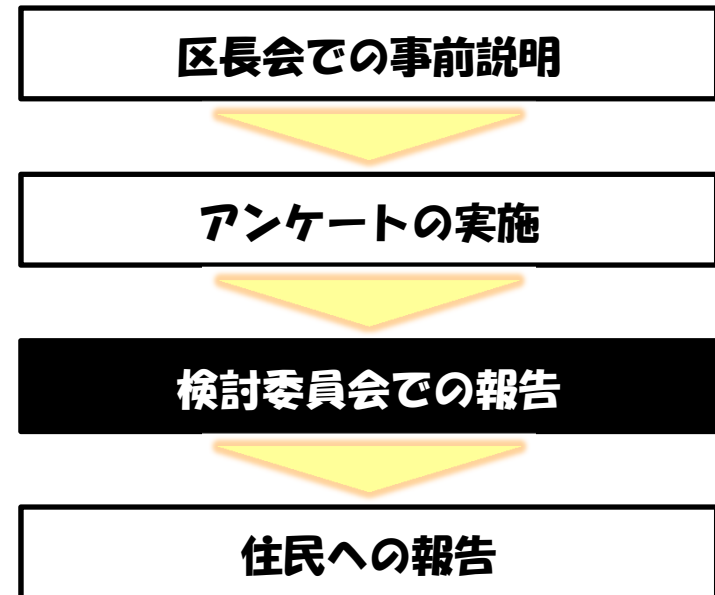
- ・ 区長会での事前説明を行ってからアンケート調査を実施。

### ■ 幅広い住民意向の把握

- ・ 津波浸水想定区域内の地域住民（全世帯）を対象としたアンケート調査により、幅広い住民意向の把握

### ■ 調査結果の報告

- ・ アンケート調査結果をホームページや広報等を用いて地域住民へ報告



# 1 第2回検討委員会の主な意見

## (2) 第2回検討委員会の主な意見

### ■方法について

- ・アンケートの回答にあたり住民に理解を深めてもらうために、各地区で説明会等をセットで行うべきでは。
- ・城辺、御荘地区だけでなく、町全体の住民を対象にした説明会を実施して、情報を周知するのが良いのでは。回覧板を回すといった手法で情報提供して欲しい。
- ・現地で堤防の高さを確認できるような方法を検討したら良いのでは。

### ■アンケートの対象者について

- ・御荘湾は町民にとって重要であり、浸水想定区域外の住民の意見を聞くことも必要ではないか。
- ・施設整備の完成が10年後、20年後になることを考慮すれば、中学生や高校生の意見を聞くことができれば良いのでは。



- ⇒ 細やかな情報発信（説明会、回覧板などの活用）
- ⇒ 津波浸水想定区域外の住民、幅広い年齢層（例えば、中学生や高校生）をターゲットとしたアンケートの実施

## 2 住民合意の基本的な考え方

### (1) 目的

- ・ 整備方針（案）に対する住民意向の把握
- ・ 検討状況の周知を通じた地域住民の防災意識の高揚（堤防等が整備された場合においても避難は不可欠）

### (2) 実施フロー

#### ■各地区での説明会と回覧等による周知

- ・ 検討内容の理解を高めるために、**各地区での説明会や回覧等**による周知を行う。

#### ■2世代のアンケートの実施

- ・ 「堤防整備によって影響がある住民」と「幅広い世代」の意向把握に向け、以下の2世代のアンケートを実施する。
  - **御荘湾周辺の一般住民**
  - **中学生・高校生**

#### ■幅広い住民への情報発信

- ・ 調査結果については、ホームページや広報、回覧板等を用いて幅広い住民へ周知する。

各地区での**説明会**  
および**回覧等**による周知

**2世代のアンケート**実施

検討委員会での**報告**

住民への**報告**  
(**回覧等の多様な情報発信**)

# 3 住民の合意形成の実施計画(案)

## (1) アンケートの実施方法等①

### 【御荘湾周辺の一般住民】

#### ■対象者

- ・ **3 海岸の津波浸水想定区域内** (L2) に位置する地区の住民 (全世帯)

※一部でも津波浸水想定区域に入っている地区を対象とし、**津波浸水想定区域外**の住民も含む

- ・ 配布数は**約1,940世帯**

(御荘地域：下記の15地区、約1,560世帯、城辺地域：下記の9地区、約380世帯 H27.4現在)

【御荘地域】長洲、長崎、貝塚、八幡野、本町、寺新町、栄町、上町、馬場、下永ノ岡、上永ノ岡、  
節崎、馬瀬、深泥、防城成川

【城辺地域】後1、後2、後3、清水、沖1、沖2、久保、中原、土居

#### ■実施方法(例)

- ・ 区長(行政協力員)の協力を得た配布・回収
  - 郵送による配布・回収よりも、**回収率が高くなる**ことが期待される。
- ・ 事前に各地区で説明会を行う。また、現地での堤防高さの表示を行う。
- ・ アンケートは調査票に整備方針(案)に関する説明用資料を添付する。
  - 回答者の**堤防整備等に関する理解を高め**たうえで回答を得る。
- ・ その他地区の住民における意向確認は、パブリックコメント等を活用する。

### 3 住民の合意形成の実施計画(案)

#### (1) アンケートの実施方法等②

##### 【中学生・高校生】

##### ■対象者

- ・ 将来の愛南町を担う**中学生及び高校生**を対象

(想定) 中学生約500人、高校生約350人、合計約850人

(参考) 【中学生】城辺中：216人、御荘中：291人 【高校生】南宇和高校：344人

※平成27年度の学校基本調査の生徒数であり増減あり。

→若者の意向把握。町外からの通学者など客観的な意向も把握が可能。

##### ■実施方法(例)

- ・ 学校の協力を得て、説明会を行ったうえで、配布・回収

→総合学習の時間等を活用して、調査への協力依頼を想定。

→防災教育の一環として、**防災意識の高揚やまちづくりへの関心を高める**ことにつながる。

#### (2) 配布資料の構成

##### ■調査票に説明資料を添付

- ・ 回答者が、アンケート調査の主旨や整備方針(案)を理解したうえで回答を得るために、調査票に説明資料を添付して配布を行う。

◇説明資料 … 整備方針(案)として、段階的整備の内容等について記載

## 3 住民の合意形成の実施計画(案)

### (3) 調査項目について

#### 【①属性・海岸の利用状況等の確認】

■回答者の属性や海岸の利用状況等について確認を行う。

・属性について

(例) あなた自身や世帯の状況について教えてください。

回答者の住居地区／年齢／性別／職業／職場の所在地／住まいの種類 など

→属性による堤防整備方法等に対する**意向の違い・傾向を確認**(クロス集計)

#### 【②整備手法等に対する住民意向の確認】

■御荘湾における津波対策の推進に関して住民意向の確認を行う。

・津波対策として重要な対策

(例) 津波に対して、安心して暮らすためには、どのような対策が重要だと思いますか。

①堤防等の整備／②情報伝達体制の強化／③避難場所の確保 など

→津波対策として**堤防整備等の重要性の確認**

### 3 住民の合意形成の実施計画(案)

#### ・堤防の高さに対する意向の確認

(例) 御荘地区の津波対策として、堤防をどのような高さで考えていくべきと思いますか。

- ① L 1 津波で浸水しない高さ (最大で約5.1mの嵩上げ)
- ② 防護と環境のバランスがとれた高さ (①と③の間)
- ③ 速やかな避難行動とあわせて人命を守ることをめざす高さ (最大で約2.6mの嵩上げ) など

→住民が望む**堤防の高さ**の確認

#### ・堤防整備の期間に対する意向の確認

(例) 堤防の整備には、長い年月が必要となります。南海トラフ地震の発生が懸念される中で、堤防等整備の進め方について、どのように思いますか。

- ① 何年かけても高い堤防(L 1 津波対応)を整備する(概ね80~100年)
- ② 整備が遅れても最適な高さを検討してから進める(①と③の間)
- ③ 速やかな避難行動とあわせて人命を守ることをめざし、可能な高さから先行的に進める(概ね20年での先行整備) など

→**段階的な整備**に対する住民意向の確認



### 3 住民の合意形成の実施計画(案)

#### 【③人的被害を抑制するために必要な避難に関する現状確認】

■人的被害縮減のためには、住民の早期避難が不可欠であることから、津波に対する危機意識・住民の避難意識・避難行動等の確認を行う。

- ・津波浸水による**危険性の認識**
- ・**避難行動**についての確認（避難場所）
- ・避難開始の**タイミング** など

（例）あなたのご自宅は、津波浸水想定区域内に含まれますか。

（〃）地震・津波が発生した際に、避難する場所を決めていますか。

（〃）避難を開始するのは地震の発生からどれぐらいの時間になると思いますか。

など

→**ソフト対策**に関する取組状況の確認

### 3 住民の合意形成の実施計画(案)

#### 参考：整備方針(案)の評価イメージ

- 整備方針(案)に示した段階的整備(第1期整備、第2期整備)に対する住民の意向把握については、「堤防の“高さ”に対する意向」と「堤防の“整備期間”に対する意向」のクロス集計から想定する。

		堤防の“高さ”に対する意向			
		①L1の高さ	②バランスがとれた高さ(①~③の間)	③最低限必要な高さ	その他
堤防の“整備期間”に対する意向	①時間をかけてもより高い堤防				
	②整備が遅れても最適な高さ(①~③の間)				
	③可能な高さで先行整備		第2期整備完成形	第1期整備完成形	
	その他				

橙色の斜線部分：バランスがとれた高さを望むが、可能な高さで先行整備を行うことを求める層(第2期整備完成形≒検討会の整備方針(案))

水色の斜線部分：可能な限り低い堤防を望み、可能な高さで先行整備を行うことを求める層(第1期整備での完成形を容認)

※質問例は現段階の案であり、内容の修正等を行う可能性がある